

長崎大学 新ニーズに対応するがんプロ養成プラン
離島・僻地病院実習 説明書

令和元年8月1日

長崎大学がんプロコーディネーター 教授 芦澤 和人
(実務担当者) 助教 本多 功一

離島・僻地病院実習

I. 実習の目標・方針

がん医療の過疎地域の実態が理解でき、僻地・離島を含む地域医療におけるがん診療能力を備えた医師・歯科医師を養成する。

II. 受入施設

病院名	住所	施設長・病院長
長崎県対馬病院	対馬市美津島町雞知乙 1168-7	川上眞寿弘 病院長
長崎県上五島病院	南松浦郡新上五島町青方郷 1549-11	八坂貴宏 病院長
長崎県五島中央病院	五島市吉久木町 205	村瀬邦彦 病院長
国民健康保険平戸市民病院	平戸市草積町 1125-12	池田柊一 管理者

III. 実習内容

外来化学療法、諸検査（内視鏡等）、がん検診、在宅・ターミナルケアなど、がん診療一般を広く経験し、がん診療の流れを習得する。

IV. カリキュラム

医師は、実習先の指導医と個別にカリキュラムを作成する。

歯科医師は、午前中：口腔ケア、午後：がん診療の見学を予定している。

V. 期間

原則1ヶ月

VI. 評価方法

実習における出勤表、実習日誌、実習報告書（レポート）を総合して評価する。

修了した場合には、後日、実習証明書を発行する。

各大学において、別の実習証明書があれば、それに則り評価を行うため、実習前に提出をする。

VII. 取得単位数

2単位（但し、単位数とするかは各大学の方針による。）

VIII. 給与

医師は、給与ではなく謝礼が支給される。

歯科医師は、原則謝礼なし。

IX. 宿泊施設

原則的に病院宿舎

(実習時期に病院宿舎が空いているところを優先し派遣するが、空いていない場合は、病院近くの民宿になる場合もあり、その費用は各大学にて負担。)

《病院宿舎利用料金 (有料箇所のみ記載)》

長崎県上五島病院 ¥5,000 / 1ヶ月 (医師のみ)

X. 計画

《実習開始の流れ》

- ①実習開始前に、長崎大学大学院臨床腫瘍学でのオリエンテーションに参加する。
- ②長崎より離島・僻地病院へ向かい、指導医の元、実習を開始。
- ③実習終了後、学生本人より実習先の施設長・病院長へ出勤表、実習日誌、レポートを提出。
- ④評価記載済みの実習証明書を各施設長・病院長から長崎大学へ送付いただく。
- ⑤実習終了後、臨床腫瘍学教室にて報告会を行う。(発表は自由形式)

《募集人員》

人数制限なし。

実習希望時期を当学担当者に伝え、派遣時期の調整を行う。

ただし、実習先の病院宿舎が空いているところから派遣するため、実習先の病院は希望に添えない可能性あり。

《費用負担》

参加各大学が、旅費(宿泊費・光熱水料:必要な場合)を負担する。

各大学のがんプロ予算から支出は可能。各種保険・食費は個人負担とする。

担 当 : 長崎大学大学院臨床腫瘍学
(事務担当) 下釜佳奈子

T E L : 095-819-7624 F A X : 095-819-7624

e-mail : shimogama-k25@nagasaki-u.ac.jp